

若者の自立支援 対策や環境学ぶ

徳島市でセミナー

徳島県労働者福祉協議
会の若者自立支援セミナ

ーが26日、徳島市の阿波
観光ホテルであり、放送
大学の宮本みち子教授
(青年社会学)の講演に学
校や社会福祉関係者ら約
150人が耳を傾けた。

宮本教授は「若者が自
立できる環境をどう作る
か」と題し、2006年
に国が若者の就労を促進
しようと始めた支援事業
「地域若者サポートステ



「高校中退した人の就労支援
が重要だ」と語る宮本教授—
徳島市の阿波観光ホテル

ーション」の取り組みを
紹介。「高校中退者が支
援を必要とする傾向が非
常に強い。安定した仕事
に就きにくい層になって
いる」と分析した。

事業で就労支援を受け
始めるのは高校中退から
5年以上たつてからの人
が中心だと指摘。「引き
こもりを経験した人や不
安定雇用で挫折した人が
多い。中退すぐに支援
を始めた方が効果的で、
学校現場とサポートステ
ーションとの連携が重要
だ」と訴えた。

(藤長英之)